

令和2年度西宮湯川記念事業 概要

湯川秀樹博士が日本人として初めてノーベル賞を受賞された「中間子論」を提唱されたのは、西宮市苦楽園に在住の時であった。昭和60年には門下生が、苦楽園小学校校庭に「中間子論誕生記念碑」を建立された。これを契機に、中間子論が本市で誕生したことを、市民をはじめ内外に知っていただくとともに、文教住宅都市の誇りと考え、昭和61年から理論物理学研究者による「西宮湯川記念事業運営委員会」を組織し、関係各位のご協力を得ながら、湯川記念賞をはじめとする西宮湯川記念事業を実施している。令和2年度も引き続き、下記事業を実施する。

※現時点での予定です。

1. 「西宮湯川記念こども科学教室」(第23回)

趣旨	西宮の子供たちに科学に親しんでもらい、科学する心を育てるため実施する。
日時	令和2年9月12日(土) 11:00～15:00 13日(日) 10:00～14:00 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止決定。
会場	西宮市立総合教育センター
内容	科学工作・実験の演示・・・各日20ブース程度
参加者	西宮市内の親子連れを中心に、各日1300名程度
共催	日本物理教育学会近畿支部、西宮市教育委員会

2. 「西宮湯川記念賞」贈呈式(第35回)

趣旨	基礎物理学における研究を奨励するため、若手研究者(40歳未満)の顕著な業績1件に対し賞(賞状、盾、賞金50万円)を贈呈する。
受賞者の選考	西宮湯川記念賞選考委員会
受賞者の承認決定	西宮湯川記念事業運営委員会・西宮市
贈呈式日時	令和2年12月5日(土) 13:00～14:00
会場	フレンテホール(フレンテ西宮5階)
参加者	西宮市民 300名程度 100名程度 ※新型コロナウイルス感染予防対策のため参加人数を制限
協賛	日本物理学会
後援	京都大学基礎物理学研究所

3. 「西宮湯川記念こども課外教室—未来の科学者たちへ—」(第22回)

趣旨	西宮のこどもたちと物理学者が触れ合う機会を設け、理科・科学に興味と関心を持ってもらう。
日時	令和2年12月7日(月) 10:00～11:00
会場	西宮市立苦楽園小学校
内容	西宮湯川記念賞受賞者のお話
参加者	苦楽園小学校6年生 100名程度

裏面に続く

4. 「西宮湯川記念科学セミナー」(第24回)

趣旨	西宮市民の基礎科学に対する正しい認識と、学生の科学する心を育てることを目的に、最先端の科学について専門家が、高校生にも分かりやすいレベルで解説する。
日時	①令和2年12月5日(土) ②令和2年12月12日(土) 両日 14:00~16:00
会場	フレンテホール(フレンテ西宮5階)
参加者	西宮市民 各日300名程度 各日100名程度 ※新型コロナウイルス感染予防対策のため参加人数を制限
講師	①京都大学大学院理学研究科 教授 <small>たなか こういちろう</small> 田中 耕一郎 氏 ②京都大学基礎物理学研究所 准教授 <small>たるや あつし</small> 樽家 篤史 氏

5. 西宮湯川記念理論物理学ワークショップ

趣旨	理論物理学の分野において、若手研究者の研究を奨励するために、専門家を対象に実施する。
日時	令和2年6月1日(月)~7月3日(金) ※新型コロナウイルス感染拡大で延期決定。令和3年2月に実施予定。
会場	京都大学基礎物理学研究所

以上